

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 1 区分
 【発行日】平成 28 年 5 月 26 日 (2016.5.26)

【公開番号】特開 2014-196706 (P2014-196706A)
 【公開日】平成 26 年 10 月 16 日 (2014.10.16)
 【年通号数】公開・登録公報 2014-057
 【出願番号】特願 2013-72729 (P2013-72729)
 【国際特許分類】

F 0 4 C 2/10 (2006.01)

F 0 4 C 15/06 (2006.01)

F 0 4 C 15/00 (2006.01)

【F I】

F 0 4 C 2/10 3 4 1 E

F 0 4 C 15/06 A

F 0 4 C 15/00 E

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 3 月 30 日 (2016.3.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

内部に円柱形状の空間であるポンプ室が形成され、当該ポンプ室に吸入側溝及び吐出側溝が凹陷形成されたハウジングと、

前記ポンプ室内に回転可能に設けられ、内周側に内歯が形成されたアウターロータと、
 前記内歯内に設けられ、前記内歯と噛合する外歯が外周側に形成されたインナーロータと、を有し、

前記吐出側溝の内縁が、前記外歯の歯底の軌跡よりも外側に位置し、

前記吐出側溝の後半部の内縁は、前記内歯の歯先の軌跡よりも内側に位置しているポンプ。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

(請求項 1)

内部に円柱形状の空間であるポンプ室が形成され、当該ポンプ室に吸入側溝及び吐出側溝が凹陷形成されたハウジングと、前記ポンプ室内に回転可能に設けられ、内周側に内歯が形成されたアウターロータと、前記内歯内に設けられ、前記内歯と噛合する外歯が外周側に形成されたインナーロータと、を有し、前記吐出側溝の内縁が、前記外歯の歯底の軌跡よりも外側に位置し、前記吐出側溝の後半部の内縁は、前記内歯の歯先の軌跡よりも内側に位置している。